

公共交通を利用しよう!

公共交通の利用者が増えると、渋滞緩和はもちろん、まちのにぎわい創出や地域間の交流促進、環境負荷軽減などメリットがたくさん。そこで今回は、本市が将来に向けて取り組んでいる新しい移動サービスの形「MaaS(マース)」のある暮らしをご紹介します。すでに運用がスタートしている取り組み、実証実験中のサービスもあるので要チェックです。



MaaS(マース)とは?

複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて、検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

本市におけるMaaSとは「新しい移動サービスの形」であり、熊本から社会や地域経済を豊かにする持続可能なモビリティサービスを創出するものです。

公共交通を利用すると「〇〇に優しい」5つのメリット

1 地球に優しい

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を減らす方法はさまざまですが、「車に乗る機会を減らすこと」が最も効果的だと言われています。

出典：環境配慮行動における客観的CO2排出削減量事実情報提供の効果に関する実験研究

2 体に優しい

公共交通を利用すると停留所まで歩くため、1時間車で移動する代わりに公共交通を使うだけで消費カロリーが2倍以上になると言われています。

出典：第6次改訂日本人の栄養所要量

3 交通に優しい

バスは1台で50人運ぶことができますが、車に2人ずつ乗ると25台にもなります。みんなが車を利用する回数を減らすと渋滞の解消につながります。

4 家計に優しい

公共交通の乗車には運賃が必要です。でも車のガソリン代、保険、税金などさまざまな維持費を合計すると、実は公共交通の方が経済的かもしれません。

5 家族に優しい

交通事故全体に占める高齢者が第一当事者(※)となる事故の割合は増加傾向にあります。地域の暮らしを支える公共交通を維持していくことがスムーズな免許返納につながり、家族も安心できます。

(※)事故当事者のうち最も過失の重い者。過失が同程度の場合は、人身損傷程度が軽い者。

MaaSのある暮らし

1 こどもや子育て世代



AIデマンドタクシー「チョイソコくまもとキッズ」の実証実験中!

子育て世代の支援を目的に、自宅と習い事先・学習塾・児童育成クラブ等までの間を複数の児童が乗り合わせ、それぞれの希望の場所に送り届けます。

詳しくはコチラ



現在の悩み

塾まではいつも車で送り迎え。こども一人でバスに乗せるのは心配だから仕方ないけど…



▼チョイソコくまもとキッズを利用すると



出発前

こどもがAIデマンドタクシーに乗ったらスマホに通知。



移動中

降りる時の支払いはスマホの画面を見せるだけ。



目的地

帰りも家までAIデマンドタクシーが送ってくれます。送迎がなくなって時間の余裕ができたし、スマホに通知がくるから安心。